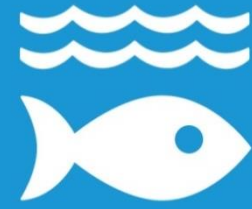




14 海の豊かさを 守ろう



海の豊かさを守ることは なぜ大切か

目標の内容は何ですか。

世界の海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用することで。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

海は食料や医薬品、バイオ燃料などの製品を含め、重要な天然資源を提供しています。海はまた、廃棄物や汚染物質の分解と排除に役立つとともに、沿岸生態系は、暴風雨の被害を軽減する緩衝としての役割を果たします。健全な海の維持は、気候変動の緩和と適応に向けた取り組みを助けます。海辺を訪れたことがある人なら、そこが観光と娯楽に絶好の場所であることも分かるでしょう。

しかも、海洋保護区は、漁獲量と

所得を増やし、健康を改善することにより、貧困の削減に貢献します。また、小規模漁業の主な担い手は女性であることから、ジェンダーの平等促進にも役立ちます。

さらに、海洋環境には、単細胞生物から地球上で最大の哺乳類であるシロナガスクジラに至るまで、驚くほど多彩な美しい生物が暮らしています。海洋は、地球上でもっとも多様性に富む生態系のひとつを構成するサンゴ礁の生息地でもあります。

海は守る価値があるように思えますが、何が問題となっているのですか。

世界の海に流れ込むゴミの量が増えていることが、環境と経済に大きな影響を及ぼしつつあります。

海洋保護区は、
人々の所得を
増やし、
健康を改善する
ことにより、
**貧困の
削減**
に貢献します。

海洋ゴミが生物に絡みついたり、生物がこれを摂したりすれば、命を失うか、生殖が不可能になる可能性があるため、生物多様性が損なわれるおそれがあります。

世界のサンゴ礁を見ると、全体の約 20%が事実上、破壊され、回復が見込めない状態にあります。残るサンゴ礁のうち約 24%は、人間がかかる圧力によって差し迫った崩壊のリスクを抱えているほか、長期的に崩壊の脅威にさらされているサンゴ礁も 26%あります。

また、ずさんな海洋管理により、魚の乱獲が生じています。漁業部門における経済的利益の損失は、年間 500 億米ドル程度に上ると見られています。国連環境計画 (UNEP) の推計によると、ずさんな海洋管理実践による経済への累積的影響は、少なくとも年間 2,000 億米ドルに達しています。緩和措置がなければ、気候変動によって 2050 年までに、海洋への損害額はさらに年間 3,220 億米ドル増えることとなります。

それを防ぐためのコストはどれだけかかるのですか。

行動を起こすためのコストは、長期的な利益によってほとんど相殺されます。生物の多様性に関する条約によると、経済的に見て、世界の海洋を持続させるための行動の拡大には、一度限りの公共コストとして 320 億米ドル、さらに恒常的コストとして年間 210 億ドルが必要となります。

では、私たちには何ができるのですか。

外洋・深海域については、脆弱な生息地を守るための国際協力を強化する以外に、持続可能性を達成する方法はありません。生物多様性を保全し、水産業にとって持続可能な未来を確保するためには、政府が保護する海域について、包括的かつ効果的で公平に管理されたシステムの確立を図るべきです。

私たちの身の回りのレベルでは、海洋に由来する商品を買ったり、海産物を食べたりするときに、海洋環境に配慮した選択を行うとともに、必要なものだけを消費すべきです。認証を受けた商品を選ぶことから始めてみるとよいでしょう。

公共交通機関を利用したり、電気製品のコンセントを抜いたりするなど、日常生活の小さな変化で省エネが可能です。こうした行動は、海面上昇の一因となっているカーボン・フットプリントを削減します。

私たちは、プラスチックの利用を最低限に抑え、浜辺の清掃を行うべきです。

さらに、最も重要なのは、海洋生物がどれだけ大切か、そして、なぜそれを守る必要があるのかに関するメッセージを拡散することです。

目標 14 をはじめ、持続可能な開発目標についてさらに詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

日本語訳：国連広報センター



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD